

## 1 日時及び場所

日時：平成 29 年 10 月 12 日（木） 9 時 30 分から 11 時 30 分

場所：道庁別館 8 階 教育庁 1 号会議室

## 2 出席者

< 構成員：3 名 >

熊木俊朗 東京大学大学院人文社会系研究科准教授（座長に選出）

天野哲也 北海道大学総合博物館研究員

澤井 玄 北海学園大学非常勤講師

< 公益財団法人北海道埋蔵文化財センター：1 名 >

坂本尚史 普及活用課主査

< 北海道教育委員会：3 名 >

西脇文化財調査グループ主幹 ほか

< 傍聴者：1 名 >

## 3 意見交換・情報提供

### < 平成 29 年度湧別町シブノツナイ竪穴住居群調査成果について >

公益財団法人北海道埋蔵文化財センターが、今年度実施した湧別町シブノツナイ竪穴住居群調査の結果を説明した。

- ・竪穴確認総数は 530 箇所となった。
- ・竪穴掘り上げ土の投げ込み状況を確認した（竪穴新旧関係の考察等に有効）。
- ・基本土層を確認・記録した。
- ・指定範囲北側に続縄文期遺物の分布状況を確認した。
- ・指定範囲北西部に近年の地形改変を確認した。
- ・検土杖調査により炉跡・覆土堆積状況・焼失住居に関する情報等を取得した。

### < 竪穴群データベースについて >

事務局が、今年度作成した竪穴群データベースについて説明した。

### < 北海道東部の竪穴住居跡群調査第 2 次調査計画について >

事務局が、平成 30 年度から実施を予定する北海道東部の竪穴住居跡群調査第 2 次調査計画案について説明した。

### < 北海道・ロシア地域間文化遺産交流事業 >

事務局が、現在計画中の北海道・ロシア地域間文化遺産交流事業<「大規模竪穴群」保存・活用交流事業>（総務省：「ロシアとの自治体間交流の促進事業」）について情報提供を行った。

### < 構成員の主な発言 >

#### シブノツナイ竪穴住居群調査について

「今回の発掘調査で多くの成果が得られたが、竪穴分布や個別竪穴の構造の把握等、残された課題もあるようだ」

「地元を引き継がれ、町民のための活用に向けた調査を実施してもらえれば望ましい」

#### 竪穴群データベースについて

「他の研究者らが作成しているデータベースも参考にするなどしてはどうか」

「取り扱う情報を整理して、より良いものにしてもらいたい」